

# 平成 21・22 年度 土木学会 第 2 回複合構造委員会 議事録

1. 日 時：平成 22 年 1 月 27 日(水) 14:05～17:10

2. 場 所：土木学会 講堂

3. 出席者：園田顧問，三浦顧問，横田委員長，杉浦副委員長，古市幹事長，伊藤委員，街道委員，小林(朗)委員，鈴川委員，竹鼻委員，津吉委員，中島委員，西垣委員，野村委員，三ツ木委員，大垣幹事，斉藤幹事，島幹事，田中幹事，西崎幹事，本間幹事，溝江幹事，山口幹事，渡辺幹事，大山幹事

(敬称略，計 25 名)

## 4. 配布資料

資料 委2-0 第2回 複合構造委員会 議事次第(案)

資料 委2-1 平成21, 22年度 第1回 複合構造委員会 議事録(案)

資料 委2-2 平成22年度「重点研究課題(研究助成金)」募集について

資料 委2-3-1 複合構造を対象とした防水・排水技術研究小委員会 設立趣意書

資料 委2-3-2 FRPによるコンクリート構造の補強設計研究小委員会 設立趣意書

資料 委2-3-3 FRP複合構造研究小委員会 設立趣意書

資料 委2-4-1 複合構造委員会 第2回幹事会議事録

資料 委2-4-2 複合構造委員会 第3回幹事会議事録

資料 委2-4-3 複合構造委員会 第4回幹事会議事録(案)

資料 委2-5 平成20年度 複合構造委員会 活動度評価の結果

資料 委2-6-1 平成21年度委員会自己評価(中間)

資料 委2-6-2 複合構造委員会 小委員会活動状況の確認調査

資料 委2-7 平成22年度 事業計画及び予算要求調書

資料 委2-8 平成21年度 複合構造委員会 予算執行状況

資料 委2-9 平成21年度 土木学会全国大会 報告

資料 委2-10 平成22年度 全国大会 (共通セッション申請)

資料 委2-11 第8回 複合・合成構造の活用に関するシンポジウム 報告

資料 委2-12 FRPシンポジウム報告<資料なし>

資料 委2-13 日米ワークショップ『環境に優しい社会基盤材料のライフサイクルアセスメント』

資料 委2-14 出版関連報告

資料 委2-15-0 小委員会一覧

資料 委2-15-1 複合構造標準示方書小委員会

資料 委2-15-2 維持管理小委員会

資料 委2-15-3 FRPによる鋼および複合構造の補修・補強小委員会

資料 委2-15-4 FRP歩道橋設計ガイドライン小委員会

資料 委2-15-5 複合構造の基礎に関する書籍作成小委員会

資料 委2-15-6 複合構造ずれ止めの性能評価法に関する調査研究小委員会

資料 委2-15-7 樹脂材料による複合技術研究小委員会

資料 委2-16-1 土木学会論文集再編についての検討依頼メール

資料 委2-16-2 土木学会論文集再編小委員会資料

## 5. 議事内容

### (1) 委員長挨拶

横田委員長より、開会の挨拶がなされた。

### (2) 第1回 委員会議事録(案)の確認 (資料 委 2-1)

斉藤幹事より、第1回委員会の議事録(案)の確認がなされ、2箇所修正の後、承認された。修正内容は、以下のとおりである。

### (6) 新設小委員会の設置について

複合構造ずれ止めの性能評価法に関する調査研究小委員会

・~~複合標準活動期間は、H21年度から2年間である。~~示方書の執筆を通して、～

### (10) 第8回 複合・合成構造の活用に関するシンポジウム

## 【審議事項】

### (3) 平成22年度「重点研究課題(研究助成金)」募集について (資料 委 2-2)

横田委員長より、各委員に対して、平成22年度 調査研究委員会への重点研究課題(研究助成金)の募集について、課題名、研究目的および研究内容があれば、2月の第1週目までに、古市幹事長宛に連絡頂きたい旨の依頼がなされた。

### (4) 新設小委員会設置 (資料 委 2-3-1～2-3-3)

・(第II種) 複合構造を対象とした防水・排水技術研究小委員会

大西先生(大阪大学、委員長候補)より、資料 委 2-3-1に基づき、小委員会の設立目的、活動内容ならびに活動予定期間などについて説明がなされた。本小委員会では、平成22年度から2年間、主に、下記の4項目について活動を行う予定である。

- ① これまでに提案されてきた高機能防水システムを調査し、使用材料や力学特性、耐久性評価、コストなどについて整理する。
- ② 高機能防水システムを適用した事例について資料を収集し、その適用性について整理する。
- ③ 防水システム自体の性能評価手法について、諸外国の資料を収集し、わが国における手法との比較を行う。
- ④ これまでに検討された事例が多いとは言えない建造物の排水システムについて実情を調査し、分類・整理を行う。

説明の後、上述の項目④について、実情を調査し、分類・整理を行うだけでなく、可能な限り、評価まで行って頂きたい。小委員会では、コンクリート床版のみならず、複合構造のあらゆる界面を対象に健全性を評価して頂きたいなどの意見が出された。その後、審議が行われ、設立が了承された。

・(第II種) FRPによるコンクリート構造の補強設計研究小委員会

上原子先生(弘前大学、幹事長候補)より、資料 委 2-3-2に基づき、小委員会の設立目的、活動内容ならびに活動予定期間などについて説明がなされた。本小委員会では、平成22年度から2年間、主に、下記の4項目について活動を行う予定である。

- ① 国内外の既存の補強設計法の問題点の抽出・整理
- ② 近年開発された新材料により補強された部材の力学特性に関する調査研究
- ③ 補強部材の耐久性(環境作用と疲労)に関する調査研究
- ④ 数値解析を活用した剥離破壊メカニズムの解明

説明の後、同内容の小委員会が、すでに、コンクリート委員会内で設立されていないかなどを確認した後、設立が了承された。

・(第II種)FRP複合構造研究小委員会

杉浦副委員長(委員長候補)より、資料 委 2-3-3 に基づき、小委員会の設立目的、活動内容ならびに活動予定期間などについて説明がなされた。本小委員会では、平成 22 年度から 2 年間、主に、下記の 2 項目について活動を行う予定である。

- ① FRP の材料係数、素材・部材の試験評価方法
- ② FRP 構造物の開発動向と形式・材料毎の特徴の整理

説明の後、小委員会の名称(=構造)と活動内容(=主に、材料に関する検討)に、若干の“差”が感じられる。そこで、公募の際、設立目的は、もう少しはっきりした内容にして頂きたい旨の意見が出された。その後、審議が行われ、設立が了承された。

- (5) その他  
特になし。

**【報告事項】**

- (6) 幹事会報告 (資料 委 2-4-1~2-4-3)

古市幹事長より、第 2 回~第 4 回の幹事会議事録(第 4 回のみ、議事録(案))の報告がなされた。

- (7) 平成 20 年度 活動度評価の結果 (資料 委 2-5)

横田委員長より、複合構造委員会の平成 20 年度の活動度評価は、残念ながら、「B」であった旨の報告がなされた。

- (8) 平成 21 年度 委員会自己評価(中間) (資料 委 2-6-1~2-6-2)

古市幹事長より、平成 21 年度 委員会自己評価(中間)について報告がなされた。

- (9) 平成 22 年度 事業計画及び予算要求調書 (資料 委 2-7)

古市幹事長より、平成 22 年度 事業計画及び予算要求調書について報告がなされた。報告の後、会議費の実施額が 200 千円であるのに対し、予算要望額が 209 千円とするのは矛盾しているのではないかと指摘がなされ、修正することになった。

- (10) 平成 21 年度 委員会予算執行状況 (資料 委 2-8)

古市幹事長より、現時点での委員会予算執行状況について報告がなされた。

- (11) 平成 21 年度 年次学術講演会 (資料 委 2-9)

古市幹事長より、平成 21 年度 年次学術講演会共通セッション CS 2【複合構造物】において 35 編の発表、研究討論会(タイトル：複合構造化による土木構造物の延命化)に 90 名の方が参加された旨の報告がなされた。

(12) 平成 22 年度 全国大会 (資料 委 2-10)

古市幹事長より、昨年度に引き続き、共通セッションのテーマとして『複合構造物』を申請した旨の報告がなされた。なお、平成 21 年度の年次学術講演会の投稿募集では、第 I 部門および第 V 部門にも複合構造がセッション名として挙げられていたため、共通セッションへの投稿数が減少したと考えられる。そこで、統一を図るため、両部門のセッション名から複合構造を削除して頂くことを学会側に依頼している旨の説明がなされた。

(13) 第 8 回 複合・合成構造の活用に関するシンポジウム (資料 委 2-11)

古市幹事長より、2009 年 11 月 5 日(木)と 6 日(金)に開催された第 8 回 複合・合成構造の活用に関するシンポジウムで、59 編(土木：23 編)の発表が行われ、117 名の方が参加された旨の報告がなされた。

(14) 日米ワークショップ (資料 委 2-13)

横田委員長より、日米ワークショップ『環境に優しい社会基盤材料のライフサイクルアセスメント』(2009 年 10 月 21 日(水)～22 日(木))について報告がなされた。

(15) 出版関係 (資料 委 2-14)

古市幹事長より、複合構造委員会の出版図書販売状況および平成 21 年度、22 年度の出版計画について報告がなされた。なお、すでに、『複合構造標準示方書』の収支は、黒字となっている。

(16) 小委員会活動報告 (資料 委 2-15-0～資料 委 2-15-7)

① (101) 複合構造標準示方書小委員会 (資料 委 2-15-1)

田中連絡幹事より、『複合構造標準示方書』を発刊し、2009 年 12 月 17 日(木)に東京／土木学会で講習会を行った旨の報告がなされた。今後、大阪、札幌ならびに福岡で講習会を開催する予定である。なお、示方書の内容に関する質問の回答および正誤表は、後日、ホームページに掲載する予定である(本文の正誤に関して、軽微な修正であれば、増刷時に、版下原稿の修正を行うことも考えている)。

② (203) 維持管理小委員会 (資料 委 2-15-2)

杉浦委員長より、現在、報告書(複合構造レポート 05)の原稿執筆を終え、査読中である旨の報告がなされた。

③ (204) FRP による鋼および複合構造の補修・補強小委員会 (資料 委 2-15-3)

山口連絡幹事より、現在、上述の維持管理小委員会同様、報告書(複合構造レポート 04)の原稿執筆を終え、査読中である旨の報告がなされた。

④ (102) FRP 歩道橋設計ガイドライン小委員会 (資料 委 2-15-4)

西崎連絡幹事より、活動状況として、設計ガイドラインの原案に対する審議を行っているとともに、設計例などの付属資料作成を始めた旨の報告がなされた。

⑤ (103) 複合構造の基礎に関する書籍作成小委員会 (資料 委 2-15-5)

大山連絡幹事より、活動状況として、書籍の目次(案)の作成を終え、各委員は、担当箇所原稿執筆を行い始めた旨の報告がなされた。今後、2～3ヶ月に1回、小委員会を開催し、執筆内容に関する意見交換を行う予定である。

⑥ (206) 複合構造ずれ止めの性能評価法に関する調査研究小委員会 (資料 委 2-15-6)

中島委員長より、活動状況として、各委員が、これまで携わってきたずれ止めに関する研究成果を報告して頂き、現状の問題点の把握および具体的な課題の設定を行っている旨の報告がなされた。

⑦ (207) 樹脂材料による複合技術研究小委員会 (資料 委 2-15-7)

大垣連絡幹事より、活動状況として、特に、小委員会内にWGを設けず、各委員が話題提供を行うことで、情報の共有を図っている旨の報告がなされた。

今後、小委員会名の前に、資料 委 2-15-0 に基づき、上述のとおり、番号を付記することになった。

(17) 土木学会論文集再編 (資料 委 2-16-1～資料 委 2-16-2)

横田委員長より、土木学会論文集の再編に関する意見照会に対して、幹事会で議論を交わし、以下の内容で回答した旨の報告がなされた。

- ① 論文集の区分に関するキーワードは、再編小委員会の提案どおりで異論はない。
- ② 編集体制は、A1(構造・地盤工学)とA2(応用力学)を分ける体制案を希望する。
- ③ メール審議で登載を決定することは、論文の“質”を下げる危険性もあるので、論文集の発行回数に合わせて、編集小委員会数は、年4回程度、開催すべきである。
- ④ 英文論文集の発行は、日本語論文の質の向上を優先させ、その後、別途、検討すべきである。

(18) FRP 複合橋梁小委員会 終了報告

西崎幹事より、Power Point を用いて、FRP 複合橋梁小委員会の終了報告がなされた。

(19) その他

特になし。

以 上  
(記録・文責 大山 理)